



2022年11月4日

各位

会社名 ネボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 晴久
兼代表執行役員
(コード番号 7985 東証スタンダード)
問合せ先 取締役兼執行役員 管理本部長 捧 渡
(TEL. 03-3409-3159)

2023年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月10日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

2023年3月期 第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,400	△30	△25	△20	△20.89
実績値(B)	3,208	△94	△83	△67	△70.70
増減額(B-A)	△191	△64	△58	△47	
増減率(%)	△6.0	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	3,065	△111	△120	△73	△61.18

(※) 1株当たり当期純利益実績値(B)が前年同期比を下回っているのは、2021年11月に自己株式239,900株を取得・消却したため、計算の基となる株式数が減少していることによります。

差異の理由

今上半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての移動制限を政府が緩和したものの、家庭食に比べて多品種かつ高価な食材が好まれる傾向にある外食に対する日本国民全体の需要の回復が依然として進まずに食材需要の盛り上がりには欠けた等、食材生産農家を取り巻く厳しい環境が続きました。

この結果、今上半期は、農家の設備投資意欲回復が当初予想対比で遅れたため、前期第2四半期実績比では増収増益乍ら、予想比では減収減益となりました。一方、足許では、入国制限緩和や円安により日本国内への外国人旅行者が増加している等、外食需要の回復が予想され、今下期は、食材生産農家を取り巻く環境改善による設備投資意欲回復に伴う農業機材の売上高増強を見込みます。

つきましては、今上期の売上高の計画比減額要因は、今下期には解消傾向にあるものと予想し、通期の連結業績予想値の変更はいたしません。

(注)本資料における業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる場合がございます。

以 上